



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

# さきばるだより

創立116年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和7年2月号

令和7年2月28日発行

## 朝鑑賞

崎原小中学校 校長 鐘 謙治

本校では、昨年度から朝鑑賞を実施しています。朝鑑賞とは、朝の10分間の時間を活用して、子供たちが絵画に向き合い、自分の気づいたことや思ったことを発表する活動です。朝から絵の鑑賞ですから、少し優雅な感じがしますし、お高くまとまっているような感じもしますが、この朝鑑賞には、現代日本教育の課題解決のポイントがたくさん詰まっています。いくつかお伝えしていきます。

1つ目。子供たちの発言が増える。  
現代の子供たちは、指示待ちが多く、自分から進んで発表する子は少ないと思います。中学生になるとなおさらです。今、多くの方がSNSを活用しているのも、基本的に目の前に人がいないからです。インターネットを間に挟んでいるから、いろんなことが発言できます。特に相手を誹謗することも気軽にできてしまうのです。そんな中ですから、自分の考えを伝えたら相手はどう思うかではなく、自分がどう思われるかが強くなります。だから人前では発言せず、SNSなどに頼ってしまうでしょう。しかし、朝鑑賞は違います。絵画は、作者の意図があるもの、見る側、つまり鑑賞する側に感じたことは委ねられます。いわば答えがないのです。ある人が思ったことも他の人が思ったことも全て正解なのです。初めは、一部の子しか発言しませんが、絵を見る中でみんなが自分なりの答えを考えますし、発表したときに、先生だけでなく周りから「なるほど」と言ってもらえることは、やはり嬉しいことだと思います。褒められるだけでなく、共感されることは嬉しいものですし、自信につながります。

2つ目。他者の思いを理解することができる。  
よく小学校低学年の児童に「相手の気持ちを考えなさい」という人がいます。私の経験上ですが、発達段階上低学年は相手の気持ちが理解できません。なぜなら見えないものだからです。しかし、朝鑑賞を行っていくと同じ絵でも一人一人の見方や思いが違ってくるのが分かってきます。最初は、自分の考えと違う意見を排除したり、自分が間違っているところをつぐんでしまったりしてしまいます。しかし、少しずつ自分の考えと他者の考えや思いが違っていくことに気づきます。最終的には、一人一人の思いや考えは違っても、みんな違うことが当然となっていきます。そうなれば、自分と違うからという理由でおこっていたいじめなどは激減します。

3つ目は、他者の考えを取り入れられるようになる。  
朝鑑賞を行っていくと、たくさんの意見や思いが表出されていきます。おそらくですが、発表していない子たちも絵をじっと見ています。頭の中では多くのことを考えているのだと思います。一人の子が発表するとうなずく子やはっとする子がいます。表情を見ると「なるほど!」「えっというこ?」といった顔をしている子もいます。子供たちは、自然と自分の考えと他者の考えを一緒にして考えるようになります。自分の中の最適解をみつけようとするのです。そうすると他者の考えや意見が重要なものであることが分かります。相手を論破するのではなく、相手の考えを融合していくのです。そこに友情や信頼が生まれるでしょう。

4つ目は、口論が少なくなる。  
先日、この朝鑑賞のシンポジウムが行われるということで、鳥取まで行ってきました。シンポジウムの中では、朝鑑賞に対して否定的な意見も出てきました。しかし、その意見は的を射ていて、徐々に共感を得ていくのです。これからの朝鑑賞にちょっとしたスパイスが効いた瞬間でした。朝鑑賞を行っていくと、自分の意見や考えと違った考えがあっても聞けるようになります。もっと言うとうちの考えと共通点を見いだせるようになっていきます。これは、小学校低学年にはまだ難しいかもしれませんが、中学生くらいになるとできることだと思っています。

他にも効果はたくさんあるのですが、紙面が少なくなりましたのでこの程度で!実は朝鑑賞の実践は「子供の考えを最後まで聞けるようになる」「教師の考えのおしつけにならなくなる」などの教師側にも大きな成果があるのです。また、その成果は、今後の教育活動で感じていただけたらと思います。

また、一度、保護者や地域対象にもやってみようという活動です。朝鑑賞が子供たちが苦しんでいるいじめや不登校にいい影響を与えているという結果も出ているようです。来年度以降も本校ではこの朝鑑賞を実施していきます。子供たちにいい影響がでてくることを期待していますが、ある先生が先日のシンポジウムで「朝鑑賞は漢方薬のようなものではないでしょうか」とおっしゃっていました。西洋医学のように即効性はないかもしれませんが、1年後、2年後に子供たちに自信をつけさせる一助になってくれたらと思います。

## 令和6年度児童生徒会スローガン

# 切磋琢磨

—ひとりじゃない。  
みんな誰かの応援団!—

## みんなでティーボールベースボール

2月8日に集落の方々と保護者VS中学生でティーボールベースボール(ティーの上に置かれたボールを打つ野球)を行いました。奄美新聞にもその様子が、スポーツ記事のように掲載されました。前回6月に行ったときは中学生が大差で勝利しましたが、今回は、集落と保護者チームの大勝でした。



## 授業参観・学校保健委員会

2月19日に授業参観・学校保健委員会が行われました。授業参観は、小学校は縄跳び大会、中学校はSDGsについて考える道徳の授業を行いました。どちらも楽しんでいただけたようで良かったです。学校保健委員会は、特別支援について講演をいただきました。現代の特別支援は、一部の子供たちが受けるのではなく、全ての子供たちが受けるべき教育です。みんなで理解していきたいと思っています。



## ゆらおう会との交流

中学生とゆらおう会の交流を行いました。中学生が考えたゲームは、いかがでしたでしょうか?子供たちが何とか自分たちの名前を覚えてもらおうと考えたようです。少しは覚えられたでしょうか?今回交流した中学2年生も崎原で過ごすのもあと1年となりました。一人でも多くの子供たちの名前を覚えていただけたらありがたいです。



## お別れ遠足

2月14日は、子供たちが楽しみにしていたお別れ遠足でした。今回は、カヌー体験をするために住用へ。初めて乗る子供たちが多かったのですが、みんな上手に乗りこなしました。カヌーを楽しんだあとは、おとなりの奄美大島世界遺産センターへ。ガイドさんもついてくれましたが、それ以上に詳しい子供もいて、たくさん説明してくれました。みんな愛する奄美大島について詳しいことが分かりました。その後、近くの公園で生徒会が考えたレクリエーションを思いっきり楽しんで帰宅しました。たくさん思い出ができたお別れ遠足でした。



## 3月の主な行事

- 5日(水) 公立高校入試(～6日)
- 7日(金) 武蔵野美術大学生来校(～9日)
- 12日(水) 卒業式
- 13日(木) 公立高校合格発表
- 25日(火) 修了式・離任式

## 4月の主な行事(予定)

- 7日(月) 始業式・入学式
- 18日(金) 授業参観・全体PTA・学級PTA
- 24日(木) PTA総会
- 3月7～8日に武蔵野美大生が壁画を描いてくれます。昨年同様仕上げを3/8 10:00～12:00に行いますのでご参加ください。

